

新共同生活住居開設

新 共同生活住居3棟が令和元年12月1日に開設し、

3か月が過ぎました。

四角い屋根が特徴の建物が「れいわの家」で、名前の由来は、まさしく新時代の「令和」にちなんで名付けました。三角屋根が特徴の「たかさごの家」は高砂地区の皆さんとともに生活していくために名付け、丸い屋根が特徴の「い



左かられいわの家、たかさごの家、いちょうの家

ちょうの家」は、いちょうの花言葉「長寿」から、末永くこの地で生活できるようにとの想いで名付けました。

引越して間もないころは、「新しい場所での生活」ということで不安もあり、緊張した表情で生活している利用者も多く見られましたが、3か月を過ぎた今では、新しい生活にも慣れてきて、笑顔も多く表情も豊かになってきました。また、利用者のお世話をする人からも「新しいところで仕事ができて気持ちがいい」という声も聞かれています。

住居内は、バリアフリーで広々とした居間や食堂、浴室があり、各居室は冷暖房が完備されています。

利用者からは「暑い夏も、これなら快適な生活が送れる」と楽しみにしている声も聞かれます。また、建物内には、利用者が安心安全に生活



キッチンと対面式になっている食堂

できるよう、スプリンクラーなどの消火設備も設置されています。

食堂は、キッチンと対面式になっていて、利用者が食事の支度をしているところを見たり、「今日のご飯は何ですか」言いながら、ご飯ができるのを楽しみに待っている様子が見られます。

居間に設置してあるテレビも大きな画面で、利用者も今まで以上に迫力のあるテレビ視聴ができると喜んでいま

た。

利用者各自の部屋のレイアウトはそれぞれが考え、ベッドや家具の位置を職員と相談して決めています。ベッドを窓側に設置したり、壁側に設置したりと思いのままにレイアウトを決めることも1つの楽しみになっているんだと感じました。

住居が完成してから、3か月がたちましたが、利用者やお世話をする人から、喜びの声を聞くと、建てて良かったと安心しました。

今後もあぶた福祉会として「障害のある人が地域とともに安心・安全に暮らせる社会」を目指し、社会福祉の増進に努めていきますので、今後とも変わらぬご理解とご支援をお願いいたします。

車両整備事業完了

この度、公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団の助成による車両整備事業が完了しました。

購入した車両を活用して、



車両整備事業により購入した送迎車両

施設入居者、グループホーム入居者の日中活動や通院時の送迎体制の確保、余暇活動(行事)などの充実を図っていきます。

公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団並びに一般社団法人函館馬主協会へ謹んで感謝の意を表します。

■事業名 送迎車両(10人乗り四輪駆動車)購入事業

■整備車両 トヨタハイエース4WD 1台

■総事業費 435万円

■助成金額 111万円

■事業完了日 令和2年2月27日